

もくじ

- ・ だいくとおにろく

だいくとおにろく

げんさく： にほんのむかしばなし

イラスト： ホリ

へんしゅう： イエローボードプロジェクト

むかし むかし、ある むらに、
たいへん ながれのはやい かわが ありました。

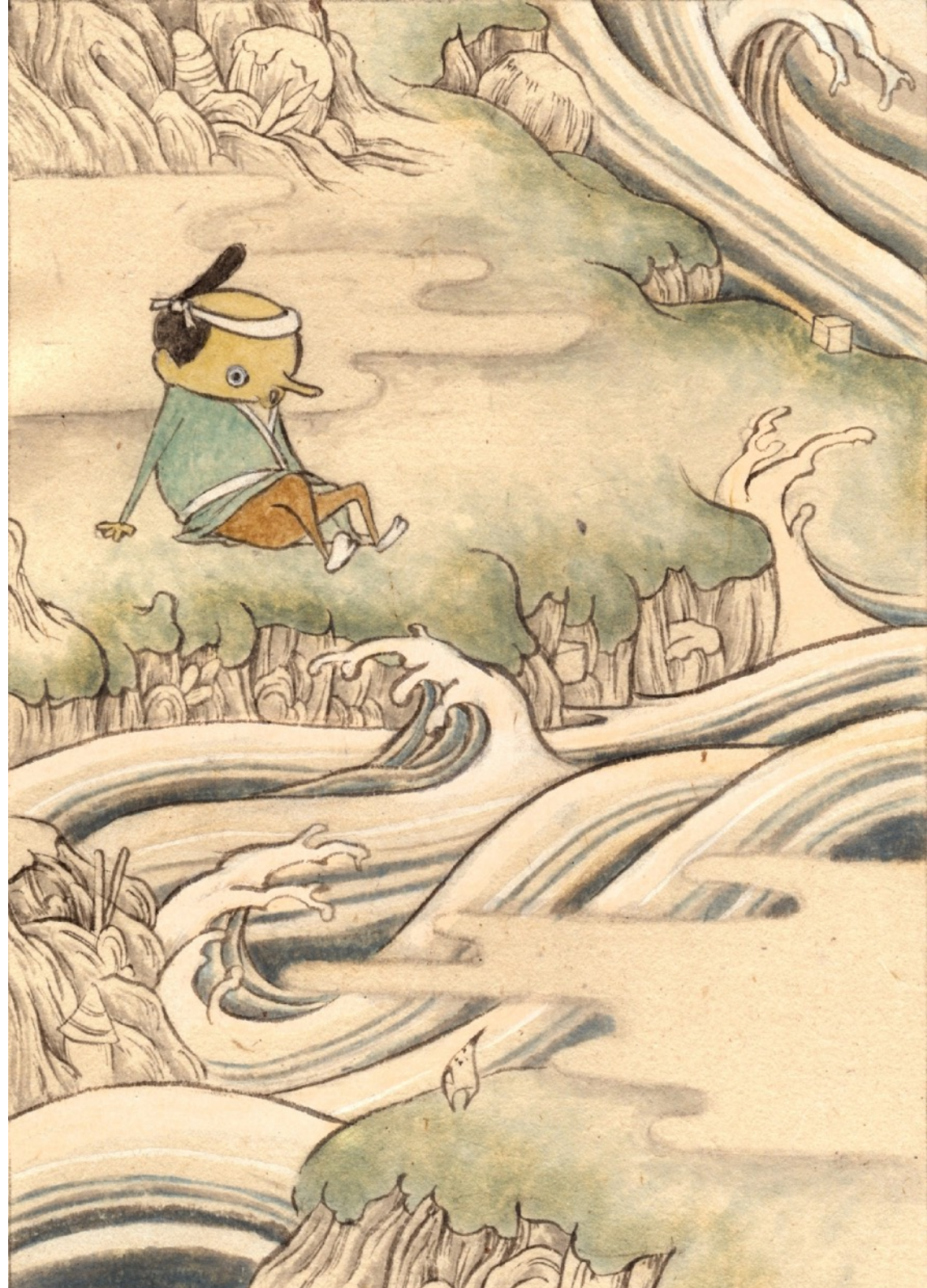
あまりに ながれがはやく、
なんど はしをかけても、あめがふるたびに、
はしは こわれて、ながされてしまいます。

そこで むらのひとびとは、
まちまでいって うでのいい だいくをやとい、
こわれない じょうぶな はしを
つくってもらうことにしました。

こうして むらに、
とても うでのいい だいくが やってきました。

「うひゃ～！ こんなに ながれのはやいかわ、
おいら はじめて みた！」

だいくは、あまりに ながれのはげしい
かわをみて、おどろいて こしをぬかして
しまいました。



すると そのとき、かわのなかから、
いっぴきの おにが すがたをあらわしました。
おおきなからだに、にほんの つの。
みみまでさけた くちには、
するどいきばが はえています。

「おい、おまえ！ ここは おれのなわばりだ。

ここに なにをしにきた！」

「ひえ～、た、たすけてくれ～！

おいら ただ たのまれて、

このかわに はしをかけにきただけだ。

おねがいだから みのがしてくれ～・・・」

「このかわに はしをかけるだと？ そうだなあ・・・

よし、にんげん。おれが おまえのかわりに、

ここに はしをかけてやろう」

「え、ほ、ほんとうですか！」

「ただし そのかわり、おまえのかおに

ついて、まんまるい めだまをふたつ、

おれが もらってやる。

いいか、やくそくだぞ！」

おには そういうと、

かわのなかに もぐっていきました。

